

遺伝子組換え実験における安全研修会 –よりよい安全管理体制の構築に向けて–
報告書

平成 21 年 1 月 15 日

日時：2008 年 12 月 22 日（月） 午前 9 時 40 分から午後 4 時 30 分まで

場所：学術総合センター 一橋記念講堂（東京都）

主催：国立大学法人中国地方バイオネットワーク連絡会議

全国大学等遺伝子研究支援施設連絡会議

後援：文部科学省

プログラムに従って、午前中は、挨拶の後に文部科学省ライフサイエンス課、野島久美恵安全対策調査官、伊藤晋太郎氏、ならびに東京大学医科学研究所、斉藤泉教授の基調講演があり、講演後に会場の参加者からの質問があり活発な討論が行われた。引き続き理化学研究所安全管理部、吉識肇研究倫理課長より招待講演が行われた。

午後のパネルディスカッションでは、最初に高知大学遺伝子組換え安全委員会の谷口武利委員長より、認証型 Web 申請・審査システムの紹介があり、引き続き神戸大学遺伝子組換え安全委員会の南森隆司委員長より 2008 年度の発生した神戸大学でのカルタヘナ法違反事例についての説明が行われた。さらに、広島大学自然科学研究支援開発センターの田中伸和教授より事前アンケートのまとめが発表された。これらの情報を念頭に、教育訓練、委員会、安全管理などの体制に関して、活発なパネルディスカッションが行われた。

当日参加者配布資料

1. 資料集（プログラム、連絡事項、講演資料、アンケート集計等）
2. 本研安全研修会のリーフレット
3. 遺伝子組み換え実験における安全研修会アンケート書式（当日配布）
4. 「認証型 Web 申請・審査システム」リーフレット
5. 参加機関と人数一覧

参考資料

1. 本安全研修会のポスター
2. 当日スナップ写真

鳥取大学生命機能研究支援センター 副センター長・教授
国立大学法人中国地方バイオネットワーク連絡会議 代表
難波 栄二



会場前の看板



東京大学医科学研究所 斎藤泉教授の講演



パネルディスカッションの風景



会場からの質問風景

遺伝子組換え実験における安全研修会

よりよい安全管理体制の構築に向けて

2008年12月22日(月)

9:40~16:10

学術総合センター一橋記念講堂

対象者：全国の国公立大学等の遺伝子組換え実験安全管理の関係者

シンポジウム専用HP <http://grc1.med.tottori-u.ac.jp/Seimei/id/index.html>

<申込先>E-mail: segrc2@med.tottori-u.ac.jp

参加費
無料
(要・事前申込)

内容：

基調講演

「遺伝子組換え実験の規制について」

文部科学省研究振興局ライフサイエンス課 井上俊樹 室長補佐心得
野島久美恵 安全対策審査官

「東大医科研における遺伝子組換え実験審査等の実際」

東京大学医科学研究所 斎藤泉 教授

招待講演

「理研における遺伝子組換え実験の安全管理について」

理化学研究所安全管理部 吉識肇 研究倫理課長

パネルディスカッション

1. 遺伝子組換え実験の問題：事例検討を中心に
2. 遺伝子組換え実験の安全管理体制
3. 遺伝子組換え実験の教育訓練

司 会：難波栄二（鳥取大学生命機能研究支援センター）
田中伸和（広島大学自然科学研究支援開発センター）

パネリスト：鎌田博（筑波大学遺伝子実験センター）
斎藤泉（東京大学医科学研究所）
中村正孝（東京医科歯科大学疾患遺伝子実験センター）
丹生谷博（東京農工大学遺伝子実験施設）

主催：

国立大学法人中国地方バイオネットワーク連絡会議
(鳥取大学・島根大学・岡山大学・広島大学・山口大学)
全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会

後援：

文部科学省(予定)

学術総合センター一橋記念講堂：場所のご案内と経路

東京都千代田区神田一ツ橋 2-1-2
学術総合センター内 如水会館の隣の建物

-地下鉄をご利用の場合-

半蔵門線・三田線・新宿線「神保町駅」(A8出口) 徒歩3分
東西線「竹橋駅」(1B出口) 徒歩4分